



令和6年度
中野中学校 学校だより

〒252-0157 相模原市緑区中野960
TEL 042-784-1240

令和6年12月10日(火)

第6号

地域の方々の力を借りて
～「体験する」ことの意義～

変化の激しい現代社会において、生徒たちが困難を乗り越え、未来に希望を持って進むためにも、社会のつながりの中で学ぶことには大変大きな意義があります。人生や社会をよりよくできる「自分も重要な一員なんだ」という実感を持てる機会が、様々な人との出会い、そして体験によって生まれていきます。今学期、1学年は「福祉体験学習」、2学年は「職場体験学習」を実施し、多くの地域の方々にお力をお借りしました。学校の中だけ、日常の授業ではできない「実体験」を通し、生徒たちが何かを感じ、学んだことを期待しています。これからも学校は、地域社会と連携・協働しながら 目指すべき学校教育の実現をめざしていきます。

福祉体験学習を終えて 1学年主任 吉田一貴

11月22日、講師を招いて福祉体験学習を実施しました。障がいや高齢に伴う心身の変化やその生活を知り、思いやりを育むと同時に、地域に暮らす人々の日常生活課題に目をむけ、共に生きてくために自分にできることやその解決に向けて考えるきっかけづくりをねらいとし、肢体不自由者の理解「車いす・ポッチャ体験」、視覚障がい者の理解「誘導・スルーネットピンポン体験」「点字体験」、高齢者の理解「高齢者模擬体験」の4つの体験学習を行いました。講師の方々の講話や体験を通して、障がいや高齢者の”リアル”を目の当たりにし、それぞれが『福祉』について深く考える時間となりました。

～生徒の感想～

- ・「高齢者体験」最初はそんなに大変な印象はなかったけれど、実際にやってみると足が重くて歩きにくいし、視力の弱さやお金のつかみにくさもあり、大変さを実感しました。
- ・「視覚障がい者体験」見えない人の誘導体験をやったけれど、その人の命を握ってるような感覚ですごくヒヤヒヤした。目が見えないってすごく不安になる。自分には興味ないと思っていたが、突然目が見えなくなることもあるし、目の不自由な方と生涯関わらないということはきっと無いだろうし、全部が関係ないとは言いきれないな、と思った。
- ・「肢体不自由者体験」車椅子は人の支えがないと段差や坂が通れないことや、操作が難しいので短い道が通りにくかったり、小回りが効かないのでとても大変なことがわかりました。怖いことは坂です。人が近くにいたり、手伝ってもらわないと勢いよく進んでしまうのでとても怖いです。これから車椅子の人を見つけたら手伝ったり助けたりしたいと思いました。



職場体験学習を終えて 2学年担当 明石静香

2学年では、働くことの意義や価値を実感するとともに、自分の将来について考える機会とするねらいで「職場体験学習」を実施しました。

事前の取り組みでは、1学期より、働くことの意義について考え、自分の適性から興味のある職業について調べて学級で共有し合いました。2学期には、それぞれの職場体験先が決定しました。自分の長所や今頑張っていることを体験先の方々に知っていただくために「わたしの履歴書」を作成しました。アポイントメント担当者は、相手に失礼のないように聞くことや伝えることを事前に整理してアポイントメントの電話に臨みました。

2学年職員も2日間それぞれの事業所に伺い、活動の様子を見させていただきました。保育園や幼稚園では、元気いっぴいのたくさんの園児たちに囲まれて一緒に遊んだり、優しく絵本を読みきかせたり、寝かしつけをしたりしている頼もしい姿。ドラッグストアでは商品を並べる真剣な表情とお客様に「いらっしゃいませ」と声掛けする姿。レストランでは笑顔で注文をきき、ジェラートを上手によそっている姿。どれも普段学校で見る生徒たちとはまた違うとてもキラキラした表情が見られて、こちらもうれしくなりました。

体験先の皆様からは「挨拶がしっかりしていて気持ちがいい」「積極的に仕事を覚えようとする姿勢が素晴らしい」といったお褒めの言葉をいただき、私たち教職員も生徒たちの成長を感じることができました。

この職場体験を通じて、生徒たちは働くことの意義や、社会の仕組みの一端に触れる貴重な経験を得ました。「自分たちが働くことで誰かの役に立てる」「新しいことを学ぶのは楽しい」といった感想も聞かれ、今後の進路や将来の目標を考えるきっかけとなったようです。

ご協力いただいた地域の皆様にも心より感謝申し上げます。そして、この経験が生徒たちの未来を切り拓く一歩となることを期待しています。



～生徒の感想～

- ・働かって本当に大変。6時間授業受けている方が楽...
- ・働かって楽しい。学校の授業より品出し作業楽しい！
- ・将来の夢は小学校の先生になることだけど、実際体験させていただいて「やっぱり学校の先生ってすごいな、やっぱり先生になりたいな」と改めて思った。
- ・2日間を終えて、両親は毎日こんなにたいへんな思いをして仕事をしているんだなと実感した。
- ・学校技能員さんたちは普段は全然気にしていなかったような細かいところまで丁寧な作業をしてくださっているんだなと思った。
- ・普段は見えないお店の裏側を知り、お店は色々な人の協力や努力で成り立っているのだと感じた。
- ・普段何気なく手に取っている商品も、お客さんが気持ちよく買って帰れるようにひとつひとつキレイに並べてくれていたのだと感じた。
- ・品物にシールを貼ったり、重量を測ったりする作業は真剣にやったけどたまにミスをしてしまうこともあった。でも、お店の方が「大丈夫だよ」「慌てないでね」と励ましてくれたので最後まで集中して頑張ることができた。
- ・幼稚園児には、全部手伝うのではなくその子ができることは自分で、できないことをサポートすることが大切だと学んだ。学びのスタンダードを意識して、相手にわかりやすく伝えるように意識した。

<読書のすすめ>



中野中学校では今年度より「朝読書」を実施しています。現在は「ブックトーク」と称して、読んだ本の感想やおすすめポイントをメモにし、他の人に伝えていく活動も行っています。図書室には「ブックトーク」で紹介された本もあります。ぜひ生徒のみなさんが、本の世界から多くの刺激や学びを得られることを願っています。

<今後の予定>

12/15(月)～12/20(金) 1,2年生 三者面談
12/23(月) *弁当日課 学年集会・大掃除
12/24(火) 2学期終業式

くり返しのお伝えとなりますが...

令和6年度卒業証書授与式は
令和7年3月12日(水)に実施いたします。
年度当初の年間計画(3/11)から変更になりました。